吹田市

バリアフリー道路特定事業計画

岸部地区、北千里地区、万博公園周辺地区

平成22年(2010年)10月

大阪府吹田市

目　　次

１．　計画概要

１．１　目的 …… 1-1

１．２　対象地区一覧及び位置図 …… 1-2

２．　岸部地区道路特定事業計画

２．１　岸部地区の概要 …… ２-1

２．２　岸部地区生活関連経路整備計画図 …… ２-３

２．３　生活関連経路事業計画 …… ２-４

２．４　岸部地区準生活関連経路整備計画図 …… ２-８

２．５　準生活関連経路整備計画 …… ２-９

３．　北千里地区道路特定事業計画

３．１　北千里地区の概要 …… ３-1

３．２　北千里地区生活関連経路整備計画図 …… ３-３

３．３　生活関連経路事業計画 …… ３-４

４．　万博公園周辺地区道路特定事業計画

４．１　万博公園周辺地区の概要 …… ４-1

４．２　万博公園周辺地区生活関連経路整備計画図 …… ４-３

４．３　生活関連経路事業計画 …… ４-４

５．　ソフト施策 …… ５-1

６．　道路特定事業整備スケジュール …… ６-1

１．　計画概要（けいかくがいよう）

１．１　目的

現在、我が国では高齢化が急速に進んでおり、平成27年（2015年）には国民の4人に 1人が 65歳以上の高齢者となるという他に例を見ない高齢社会を迎えようとしており、高齢者の方々が安心して暮らすことができる社会の形成が望まれています。また、障がい者等の方々についても、社会・経済活動への積極的参加の実現が強く求められています。

吹田市では、これらの方々が気軽に安心して移動できるようにするため、さまざまな施策を通じてバリアフリー化を進めてきましたが、移動にあたっては現に様々なバリア（障壁）が存在しており、このバリアフリー化（障壁の除去）が大変重要な課題となっています。

このような状況の中で、平成12年（2000年）11月に、「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」、いわゆる「交通バリアフリー法」が施行され、平成18年12月には、「交通バリアフリー法」と「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律（ハートビル法）」を統合・拡充し、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化に関する法律」、通称「バリアフリー新法」が施行されました。

吹田市では「誰もがやさしくなれる吹田のまちづくり」を基本理念とし、平成15年（2003年）４月に第１段階として 3地区6駅（江坂地区、山田地区、吹田・豊津地区）を対象とした吹田市交通バリアフリー基本構想を策定しました。さらに、平成18年（2006年）には、第2段階として 3地区４駅（桃山台地区、千里山・関大前地区、南千里地区）の基本構想を策定し、バリアフリー新法施行をうけて平成20年３月に、第３段階として３地区４駅（岸部地区、北千里地区、万博公園周辺地区）の基本構想を策定しました。

今回、この基本構想で定めた重点整備地区内の生活関連経路等（吹田市管理道路）のバリアフリー化を推進するため、本道路特定事業計画（岸部地区、北千里地区、万博公園周辺地区）を策定したもので、今後はこの事業計画に沿って、事業を行っていきます。

１．２　対象地区一覧及び位置図

（１）対象地区一覧

	対象地区名称	地区面積
1	岸部地区	1.17km^2
2	北千里地区	3.52km^2
3	万博公園周辺地区	3.63km^2

（２）対象地区位置図

吹田市重点整備地区位置図

（３）吹田市の人口・面積

市町村人口 （平成22年８月末 吹田市調査）	351,754 人	市町村面積	36.11km^2

２．　岸部地区
道路特定事業計画

２．１　岸部地区の概要

（1）岸部地区の概要

・岸部地区は、大正時代に国鉄吹田操車場が設置され、「操車場のまち」として知られるようになりました。昭和以降、大阪高槻京都線の沿道地域から名神高速道路にかけては、スプロール的に住宅地の開発が進み、これらの地区では狭隘道路や袋小路も見られ、高齢者、障がい者等に対する配慮が十分でない部分が多くあります。

・大規模工場跡地や操車場跡地の土地利用転換が進められています。
大規模工場跡地については、新しく商業施設が整備されました。また、駅北側の操車場跡地の再整備については、「東部拠点まちづくり市民フォーラム」及び「吹田操車場跡地まちづくり計画委員会」において検討が重ねられ、現在、実現に向けた整備が行われています。加えて、吹田操車場跡地のまちづくり事業に合わせてJR岸辺駅改修事業も進められています。
これらの事業や、策定済みの「摂津市交通バリアフリー基本構想」と連携を図りながら、地区内のバリアフリー化を進めることが求められています。

・JR岸辺駅周辺には大阪学院大学等が立地し、学生をはじめ市域内外から多くの人が訪れており、隣接する摂津市には、阪急正雀駅(1日あたりの利用者数約25,000人)があり、そこから岸部地区を訪れる人も多いと考えられます。しかし、駅周辺の道路では、歩道の未設置、歩道の幅員不足、迷惑駐輪等の問題があり、安全かつ円滑な移動が確保されていないため、早急なバリアフリー化整備が求められています。

（2）岸部地区内生活関連施設

1）生活関連施設

施設名	種類
JR岸辺駅	旅客施設
阪急正雀駅	旅客施設
平和堂フレンドマート岸辺店	商業施設
吹田市立岸部市民センター	公共施設
大阪学院大学（大阪学院大学3号館を含む）	教育施設
大阪学院短期大学	
高齢者いこいの家	公共･福祉施設
吹田市交流活動館	公共･福祉施設
吹田市立青少年クリエイティブセンター	教育施設
吹田操車場跡地のまちづくり事業区域内	
教育文化創生ゾーン	教育施設
医療健康創生ゾーン	医療施設

（3）岸部地区の人口

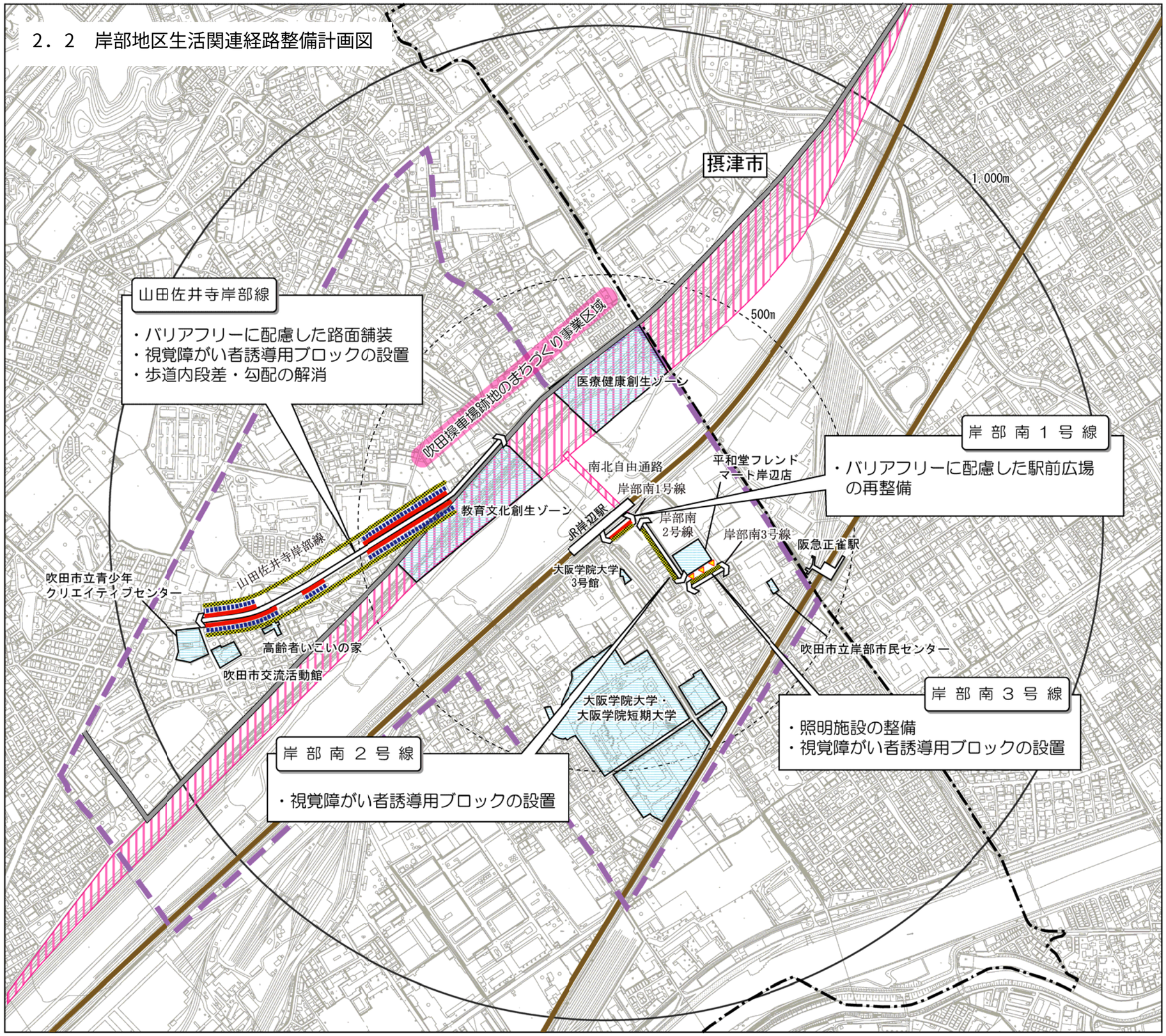
人　　口※1：5,875人

高齢化率※2：23.4%

※1：H21住民基本台帳

※2：65歳以上居住者人口比率

2．2　岸部地区生活関連経路整備計画図



凡例		
施設	交通拠点	駅名
	施設	
経路	事業実施経路	
既設道路の改良	段差・勾配等の解消	
	バリアフリーに配慮した路面舗装	
個別施設の整備改良等	照明施設の整備	
視覚障がい者誘導用ブロックの設置		
吹田操車場跡地のまちづくり事業区域		
重点整備地区の区域		
市境界		

路線名	延長（m）	事業費（百万円）	実施時期	
			着手予定	完了予定
山田佐井寺岸部線	750	15.3	H24	H26
岸部南１号線	110	350.0	H20	H26
岸部南２号線	100	0.6	H26	H27
岸部南３号線	107	2.6	H27以降	
合計	1067	368.5	―	―

２．３　生活関連経路事業計画

（１）個別事業計画

路線名：　山田佐井寺岸部線

事業区間：　始点：岸部保管所～終点：青少年クリエイティブセンター前

延長：　７５０ｍ

整備方針	・バリアフリーに配慮した路面舗装 ・視覚障がい者誘導用ブロックの設置 ・歩道内段差・勾配の解消

事業の内容	事業量 （延長/箇所数）	実施予定期間	
		着手	完了
既設舗装版撤去と路面舗装 （アスファルト）	189.0　m^2	H24	H26
既設舗装版撤去と路面舗装 （インターロッキングブロック）	508.0　m^2	H24	H26
視覚障がい者誘導用ブロックの設置	1140.5　m	H24	H26
その他の整備			
縁石設置	20.0　m	H24	H26

事業実施に際し配慮すべき 重要事項	一部吹田操車場跡地のまちづくり事業で整備。

（2）個別事業計画

路線名： 岸部南1号線

事業区間： 始点：ＪＲ岸辺駅東側の交差点～終点：ＪＲ岸辺駅西側の交差点

延長： 110ｍ

整備方針	・バリアフリーに配慮した駅前広場の再整備

事業の内容	事業量（延長/箇所数）	実施予定期間	
		着手	完了
駅前広場の再整備	4500.0 m^2	H20	H26
斜路付階段の設置	延長 約30m 幅員 3.3m	H20	H21
バス停の改良	2.0 箇所	H21	H26
バリアフリーに配慮した路面舗装	約1300 m^2	H21	H26
視覚障がい者誘導用ブロックの設置	約300 m	H21	H26
タクシー乗り場の改良	1.0 箇所	H25	H26
トイレ設置	1.0 棟	H26	H26

事業実施に際し配慮すべき重要事項	(独)鉄道運輸機構が整備する南北自由通路や駅舎橋上化工事とのスケジュール調整を行う必要がある。 駅前広場の整備にあたっては、協定広場であることからＪＲ西日本と整備計画や維持管理について引続き協議を行う必要がある。

（3）個別事業計画

路線名： 岸部南2号線

事業区間： 始点：ＪＲ岸辺駅東側の交差点～終点：平和堂フレンドマート南西側の交差点

延長： 100ｍ

整備方針	・視覚障がい者誘導用ブロックの設置

事業の内容	事業量 （延長/箇所数）	実施予定期間	
		着手	完了
視覚障がい者誘導用ブロックの設置	110.0 ｍ	H26	H27

事業実施に際し配慮すべき 重要事項	

（4）個別事業計画

路線名： 岸部南3号線

事業区間： 始点：平和堂フレンドマート南西側の交差点～
終点：介護老人福祉施設メルヴェイユ吹田西側の交差点

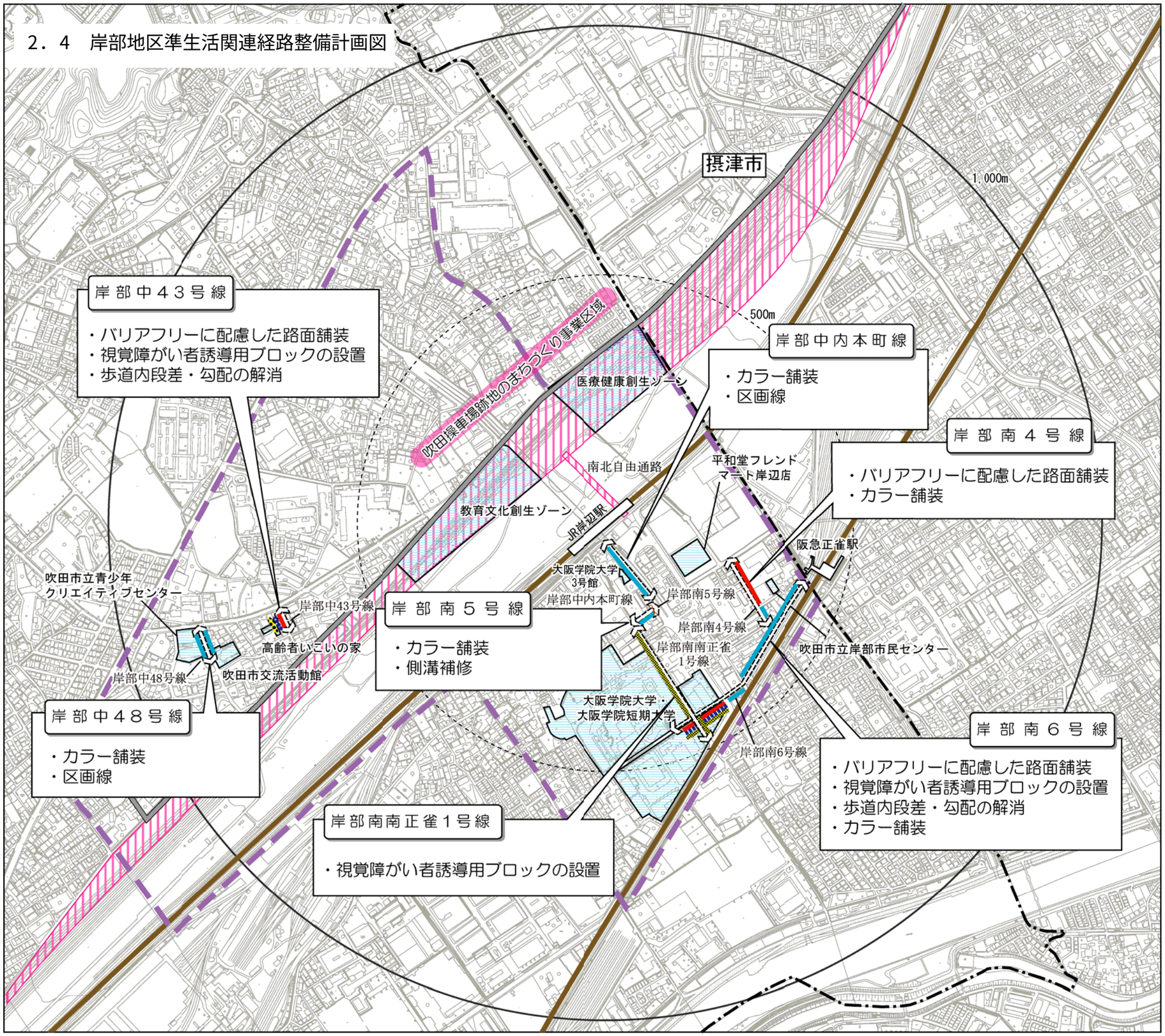
延長： 107ｍ

整備方針	・照明施設の整備 ・視覚障がい者誘導用ブロックの設置

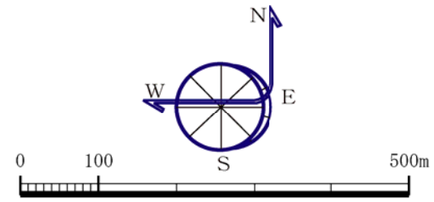
事業の内容	事業量 （延長/箇所数）	実施予定期間	
		着手	完了
照明施設の整備	3.0　箇所	H27以降	
視覚障がい者誘導用ブロックの設置	122.0　m	H27以降	
その他の整備			
街渠撤去・設置	8.0　m	H27以降	

事業実施に際し配慮すべき 重要事項	

２．４　岸部地区準生活関連経路整備計画図



凡例		
施設	交通拠点	駅名
	施設	
経路	事業実施経路	
既設道路の改良	段差・勾配等の解消	
	バリアフリーに配慮した路面舗装	
視覚障がい者誘導用ブロックの設置		
その他	カラー舗装	
	側溝補修	
吹田操車場跡地のまちづくり事業区域		
重点整備地区の区域		
市境界		



路線名	延長(m)	事業費(百万円)	実施時期 着手予定	実施時期 完了予定
岸部南４号線	155	1.4	H27以降	
岸部南５号線	51	1.1	H27以降	
岸部南６号線	385	9.9	H27以降	
岸部中４３号線	35	1.2	H27以降	
岸部中４８号線	90	1.9	H27以降	
岸部南南正雀１号線	277	1.6	H27以降	
岸部中内本町線	160	1.6	H27以降	
合計	1,153	18.7	―	―

２．５　準生活関連経路事業計画

（１）個別事業計画

路線名：　岸部南4号線

事業区間：　始点：介護老人福祉施設メルヴェイユ吹田西側の交差点～終点：南側2つめの交差点

延長：　１５５ｍ

整備方針	・バリアフリーに配慮した路面舗装 ・カラー舗装

事業の内容	事業量 （延長/箇所数）	実施予定期間	
		着手	完了
既設舗装版撤去と路面舗装 （アスファルト）	１０２.０　m^2	H２７以降	
その他の整備			
薄層カラー舗装	４０.０　m^2	H２７以降	
区画線（外側線）	６５.０　m	H２７以降	

事業実施に際し配慮すべき 重要事項	

（2）個別事業計画

路線名： 岸部南5号線

事業区間： 岸部南1丁目25番地先南側

延長： 51ｍ

整備方針	・カラー舗装 ・側溝補修

事業の内容	事業量 （延長/箇所数）	実施予定期間	
		着手	完了
その他の整備			
薄層カラー舗装	96.0 m^2	H27以降	
側溝補修	4.0 m	H27以降	

事業実施に際し配慮すべき 重要事項	

（3）個別事業計画

路線名： 岸部南6号線

事業区間： 始点：阪急正雀駅～終点：大阪学院大学1号館北東の交差点

延長： 385ｍ

整備方針	・バリアフリーに配慮した路面舗装 ・視覚障がい者誘導用ブロックの設置 ・歩道内段差・勾配の解消 ・カラー舗装

事業の内容	事業量 （延長/箇所数）	実施予定期間	
		着手	完了
既設舗装版撤去と路面舗装 （アスファルト）	16.0 m^2	H27以降	
視覚障がい者誘導用ブロックの設置	144.0 m	H27以降	
その他の整備			
街渠撤去・設置	20.0 m	H27以降	
薄層カラー舗装	580.0 m^2	H27以降	
石張り舗装	106.0 m^2	H27以降	
区画線（外側線）	469.0 m	H27以降	

事業実施に際し配慮すべき 重要事項	大阪学院大学と調整が必要。

（4）個別事業計画

路線名： 岸部中43号線

事業区間： 始点：岸部中1丁目25番地先北側～終点：高齢者いこいの家前

延長： 35 m

整備方針	・バリアフリーに配慮した路面舗装 ・視覚障がい者誘導用ブロックの設置 ・歩道内段差・勾配の解消

事業の内容	事業量 （延長/箇所数）	実施予定期間	
		着手	完了
既設舗装版撤去と路面舗装 （アスファルト）	46.0 m^2	H27以降	
視覚障がい者誘導用ブロックの設置	32.0 m	H27以降	
その他の整備			
街渠撤去・設置	7.0 m	H27以降	

事業実施に際し配慮すべき 重要事項	

（5）個別事業計画

路線名： 岸部中48号線

事業区間： 始点：青少年クリエイティブセンター前交差点～終点：吹田市交流活動館前

延長： 90ｍ

整備方針	・カラー舗装 ・区画線

事業の内容	事業量 （延長/箇所数）	実施予定期間	
		着手	完了
その他の整備			
薄層カラー舗装	210.0 m^2	H27以降	
区画線（外側線）	185.0 m	H27以降	

事業実施に際し配慮すべき 重要事項	

（6）個別事業計画

路線名： 岸部南南正雀1号線

事業区間： 始点：岸部南1丁目25番地先南西側～終点：大阪学院大学4号門前

延長： 277 m

整備方針	・視覚障がい者誘導用ブロックの設置

事業の内容	事業量 （延長/箇所数）	実施予定期間	
		着手	完了
視覚障がい者誘導用ブロックの設置	272.0 m	H27以降	

事業実施に際し配慮すべき 重要事項	大阪学院大学と調整が必要。

（7）個別事業計画

路線名： 岸部中内本町線

事業区間： 始点：ＪＲ岸辺駅西側の交差点～終点：岸部南1丁目25番地先南東側

延長： 160ｍ

整備方針	・カラー舗装 ・区画線

事業の内容	事業量 （延長/箇所数）	実施予定期間	
		着手	完了
その他の整備			
薄層カラー舗装	183.0 m^2	H27以降	
区画線（外側線）	163.0 m	H27以降	

事業実施に際し配慮すべき 重要事項	

３．　北千里地区
道路特定事業計画

3．1　北千里地区の概要

（1）北千里地区の概要

・北千里地区は、千里ニュータウンとして整備され、阪急北千里駅及び多くの公共施設や商業施設が配置されているディオス北千里を中心に、緑豊かで閑静な住環境が形成されてきました。地区内には国立循環器病研究センターなど医療施設や公共施設が集積している千里北公園等が立地しています。

・北千里地区は丘陵地にあるため地形の起伏があります。このため、阪急北千里駅と生活関連施設を結ぶ経路において、急勾配、歩道の幅員不足等の課題があります。また、地区の高齢化率が高く、高齢化も進んでいるため、早急なバリアフリー化整備が求められています。

（2）北千里地区内生活関連施設

1）生活関連施設

施設名	種類
阪急北千里駅	旅客施設
ディオス北千里	商業施設・公共施設
古江台市民ホール	公共施設
青山台市民ホール	公共施設
千里北公園	公園
北千里市民プール	公共施設
北千里市民体育館	
吹田市自然体験交流センター （基本構想策定時：青少年野外活動センター）	
国立循環器病研究センター （基本構想策定時：国立循環器病センター	医療施設
藤白台市民ホール	公共施設
千里金蘭大学・千里金蘭大学短期大学部	教育施設
金蘭千里高等学校・中学校	
大阪大学医学部附属病院	医療施設
大阪大学歯学部附属病院	
障害者支援交流センター（あいほうぷ吹田）	福祉施設

（3）北千里地区の人口

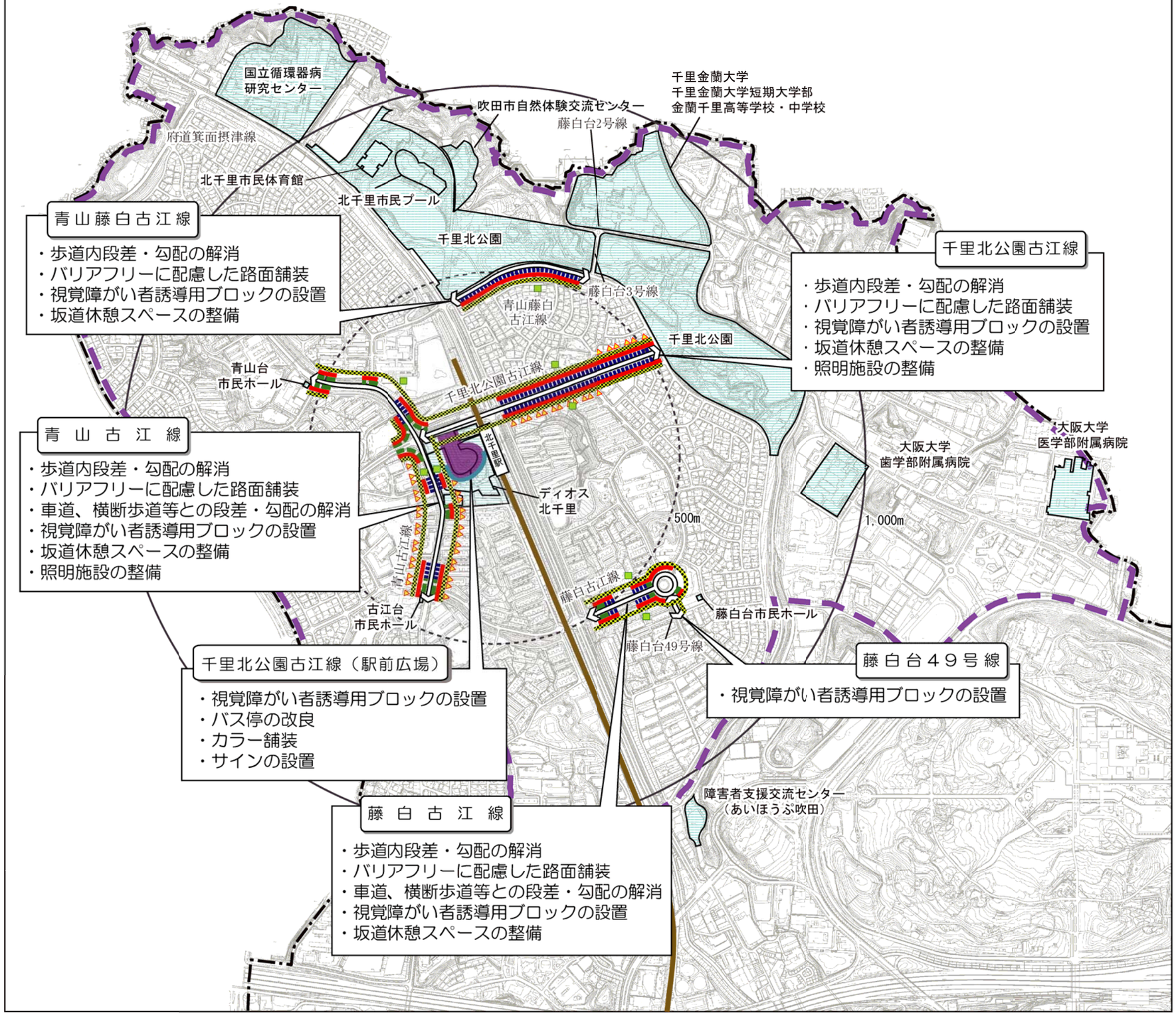
人　　口※1：26,061人

高齢化率※2：26.3%

※１：H21住民基本台帳

※２：65歳以上居住者人口比率

３．２　北千里地区生活関連経路整備計画図



青山藤白古江線
- 歩道内段差・勾配の解消
- バリアフリーに配慮した路面舗装
- 視覚障がい者誘導用ブロックの設置
- 坂道休憩スペースの整備

千里北公園古江線
- 歩道内段差・勾配の解消
- バリアフリーに配慮した路面舗装
- 視覚障がい者誘導用ブロックの設置
- 坂道休憩スペースの整備
- 照明施設の整備

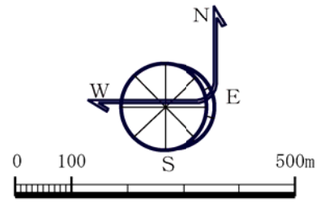
青山古江線
- 歩道内段差・勾配の解消
- バリアフリーに配慮した路面舗装
- 車道、横断歩道等との段差・勾配の解消
- 視覚障がい者誘導用ブロックの設置
- 坂道休憩スペースの整備
- 照明施設の整備

千里北公園古江線（駅前広場）
- 視覚障がい者誘導用ブロックの設置
- バス停の改良
- カラー舗装
- サインの設置

藤白古江線
- 歩道内段差・勾配の解消
- バリアフリーに配慮した路面舗装
- 車道、横断歩道等との段差・勾配の解消
- 視覚障がい者誘導用ブロックの設置
- 坂道休憩スペースの整備

藤白台４９号線
- 視覚障がい者誘導用ブロックの設置

凡例		
施設	交通拠点	駅名
	施設	
経路	事業実施経路	
駅前広場整備		
既設道路の改良	段差・勾配等の解消	
	バリアフリーに配慮した路面舗装	
	車道・横断歩道等との段差・勾配の解消	
個別施設の整備改良等	坂路休憩スペース整備	
	照明施設の整備	
視覚障がい者誘導用ブロックの設置		
その他	カラー舗装	
重点整備地区の区域		
市境界		



路線名	延長（m）	事業費（百万円）	実施時期 着手予定	実施時期 完了予定
千里北公園古江線	710	66.8	H25	H27
千里北公園古江線（駅前広場）	310	86.2	H25	H27
青山古江線	910	58.7	H25	H27
藤白古江線	350	16.7	H27以降	
青山藤白古江線	430	27.1	H27以降	
藤白台４９号線	55	0.1	H27以降	
合計	2,765	255.6	―	―

３．３　生活関連経路事業計画

（１）個別事業計画

路線名：　千里北公園古江線［1］

事業区間：　始点：千里北公園入口～終点：青山台中学校前交差点

延長：　７１０ｍ

整備方針	・歩道内段差・勾配の解消 ・バリアフリーに配慮した路面舗装 ・視覚障がい者誘導用ブロックの設置 ・坂道休憩スペースの整備 ・照明施設の整備

事業の内容	事業量 （延長/箇所数）	実施予定期間	
		着手	完了
植樹帯移設	517.0　ｍ	H25	H27
既設舗装版撤去と路面舗装 （アスファルト）	2109.0　m^2	H25	H27
照明施設の整備	20.0　箇所	H25	H27
視覚障がい者誘導用ブロックの設置	1614.0　ｍ	H25	H27
坂道休憩スペースの整備	2.0　箇所	H25	H27
その他の整備			
コンクリート舗装	197.0　m^2	H25	H27

事業実施に際し配慮すべき 重要事項	

（2）個別事業計画

路線名： 千里北公園古江線［2］

事業区間： 北千里駅前広場

延長： 310ｍ

整備方針	・視覚障がい者誘導用ブロックの設置 ・バス停の改良 ・カラー舗装 ・サインの設置

事業の内容	事業量 （延長/箇所数）	実施予定期間	
		着手	完了
バス停改良	10.0 箇所	H25	H27
既設舗装版、境界石撤去・修正設置	2.0 m	H25	H27
既設舗装版撤去と平板舗装	5.0 箇所	H25	H27
視覚障がい者誘導用ブロックの設置	148.0 m	H25	H27
その他の整備			
薄層カラー舗装	317.0 m^2	H25	H27
区画線設置	140.0 m	H25	H27
サインの設置	1.0 箇所	H25	H27

事業実施に際し配慮すべき 重要事項	

（3）個別事業計画

路線名： 青山古江線

事業区間： 始点：青山台市民ホール前～終点：古江台市民ホール前

延長： 910ｍ

整備方針	・歩道内段差・勾配の解消 ・バリアフリーに配慮した路面舗装 ・車道・横断歩道等との段差・勾配の解消 ・視覚障がい者誘導用ブロックの設置 ・坂道休憩スペースの整備 ・車止めポールの改良 ・照明施設の整備

事業の内容	事業量 （延長/箇所数）	実施予定期間	
		着手	完了
既設舗装版撤去と路面舗装 （アスファルト）	1625.0 m^2	H25	H27
既設舗装版撤去と平板舗装	62.0 箇所	H25	H27
街渠撤去・設置（交差点改良）	1.0 箇所	H25	H27
照明施設の整備	40.0 箇所	H25	H27
視覚障がい者誘導用ブロックの設置	1654.0 m	H25	H27
坂道休憩スペースの整備	3.0 箇所	H25	H27
車止めポールの改良	31.0 箇所	H25	H27

事業実施に際し配慮すべき 重要事項	

（4）個別事業計画

路線名： 藤白古江線

事業区間： 始点：藤白台市民ホール前ロータリー～終点：藤白台1丁目バス停北側交差点

延長： 350 m

整備方針	・歩道内段差・勾配の解消 ・バリアフリーに配慮した路面舗装 ・車道、横断歩道等との段差・勾配の解消 ・視覚障がい者誘導用ブロックの設置 ・坂道休憩スペースの整備

事業の内容	事業量 （延長/箇所数）	実施予定期間	
		着手	完了
植樹帯移設	10.0 m	H27以降	
既設舗装版撤去と路面舗装 （アスファルト）	508.0 m^2	H27以降	
既設舗装版撤去と路面舗装 （インターロッキングブロック）	79.0 m^2	H27以降	
視覚障がい者誘導用ブロックの設置	658.0 m	H27以降	
坂道休憩スペースの整備	2.0 箇所	H27以降	
車止めポールの改良	23.0 箇所	H27以降	

事業実施に際し配慮すべき 重要事項	

（5）個別事業計画

路線名： 青山藤白古江線

事業区間： 始点：千里北公園前交差点～終点：金蘭会学園前バス停南側交差点

延長： 430 m

整備方針	・歩道内段差・勾配の解消 ・バリアフリーに配慮した路面舗装 ・視覚障がい者誘導用ブロックの設置 ・坂道休憩スペースの整備

事業の内容	事業量 （延長/箇所数）	実施予定期間	
		着手	完了
植樹帯移設	287.0 m	H27以降	
既設舗装版撤去と路面舗装 （アスファルト）	878.0 m^2	H27以降	
視覚障がい者誘導用ブロックの設置	434.0 m	H27以降	
坂道休憩スペースの整備	1.0 箇所	H27以降	
その他の整備			
コンクリート舗装	235.0 m^2	H27以降	

事業実施に際し配慮すべき 重要事項	

（6）個別事業計画

路線名： 藤白台49号線

事業区間： 始点：藤白台市民ホール前ロータリー～終点：藤白台市民ホール前

延長： 55 m

整備方針	・視覚障がい者誘導用ブロックの設置

事業の内容	事業量 （延長/箇所数）	実施予定期間	
		着手	完了
視覚障がい者誘導用ブロックの設置	25.0 m	H27以降	

事業実施に際し配慮すべき 重要事項	

４．　万博公園周辺地区道路特定事業計画

４．１　万博公園周辺地区の概要

（1）万博公園周辺地区の概要

・万博公園周辺地区には、万博記念公園やホテル阪急エキスポパーク等広域的な集客力の高い施設が立地しています。特に万博記念公園内には、万博記念競技場、国立民族学博物館、日本民芸館等の施設が集積し、広域的な学術・文化・レクリエーションや防災拠点として特色ある市街地の形成をめざし整備が進められています。

・生活関連施設を結ぶ経路は、広幅員のものが多いですが、舗装の老朽化や迷惑駐輪等の問題があります。また、視覚障がい者誘導用ブロックや、誘導案内情報施設の不備等の課題があり、地区内の居住者だけでなく、地区外から訪れる人も多いため、早急なバリアフリー化整備が求められています。

（2）万博公園周辺地区内生活関連施設

1）生活関連施設

施設名	種類
大阪モノレール万博記念公園駅	旅客施設
大阪モノレール公園東口駅	旅客施設
資源リサイクルセンター（くるくるプラザ）	公共・公益施設
万博記念公園	公園
万博記念競技場	公共・公益施設
大阪日本民芸館	公共・公益施設
国立民族学博物館	公共・公益施設
生活誕生館DILIPA	商業施設
万博記念館	公共・公益施設
ホテル阪急エキスポパーク	商業施設

（3）万博公園周辺地区の人口

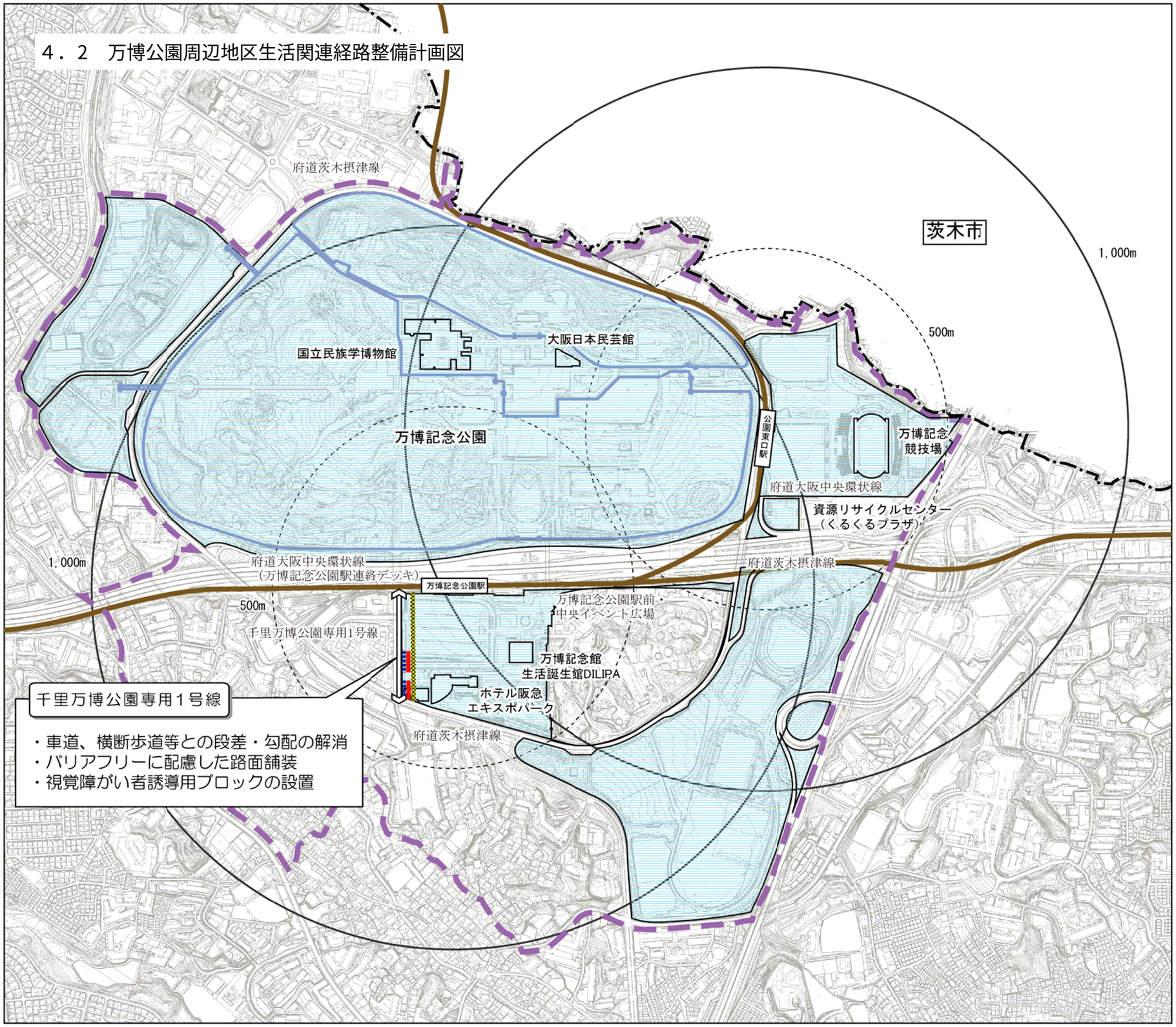
人　　口※1：7,765人

高齢化率※2：16.2%

※１：H21住民基本台帳

※２：65歳以上居住者人口比率

４．２　万博公園周辺地区生活関連経路整備計画図



凡　例		
施設	交通拠点	駅名
	施設	
経路	事業実施経路	
既設道路の改良	段差・勾配等の解消	
	バリアフリーに配慮した路面舗装	
視覚障がい者誘導用ブロックの設置		
重点整備地区の区域		
市境界		

N
W　E
S

0　100　500m

路線名	延長（m）	事業費（百万円）	実施時期	
			着手予定	完了予定
千里万博公園専用１号線	281	6.9	H27以降	
合計	281	6.9	－	－

４．３　生活関連経路事業計画

（１）個別事業計画

路線名：　千里万博公園専用1号線

事業区間：　始点：万博記念公園駅連絡デッキ～終点：茨木摂津線

延長：　２８１ｍ

整備方針	・車道、横断歩道等との段差・勾配の解消 ・バリアフリーに配慮した路面舗装 ・視覚障がい者誘導用ブロックの設置

事業の内容	事業量 （延長/箇所数）	実施予定期間	
		着手	完了
既設舗装版撤去と路面舗装 （アスファルト）	84.0　m^2	H27以降	
既設舗装版撤去と路面舗装 （インターロッキングブロック）	322.0　m^2	H27以降	
視覚障がい者誘導用ブロックの設置	334.0　m	H27以降	

事業実施に際し配慮すべき 重要事項	

５．　ソフト施策（せさく）

吹田市では、基本構想策定段階から積極的な市民参加を進め、本事業計画を作成しました。

この中では主に生活関連経路・準生活関連経路内の市道部分についてのハード整備について記載していますが、ハード整備だけですべての人が安全・安心・快適に移動できるようになるとは言えません。エレベーターを設置したり、道路の段差を解消したりするだけでは本当の意味でのバリアフリーではないのです。

吹田市では、「人を思いやり、やさしくなれる」このことが、バリアフリーを進める第一歩であると考え、「だれもがやさしくなれる」吹田のまちづくりをめざしています。

そこで、本事業計画に記載しているようなハード整備のみでは早急な解決が困難である場合の取組みとして、また、ハード整備完了後もより多くの人が安全・安心・快適に移動できるための取組みとして、ハード整備とともに、以下のソフト施策も重点的に進めていきます。

■広報・啓発の推進

○ 車道や歩道、身体障がい者用の駐車スペース、公園等における迷惑駐輪や違法駐車、不法占用物（看板・商品のはみ出し等）対策として、公安委員会等関係機関・市民と協力しながら自粛の呼びかけ、指導、取締まりを進めます。

○ 総合教育や交通安全教育等の中でバリアフリーの啓発（交通用具利用者へのマナーの向上、子どもの頃からのバリアフリーへの理解の向上等）を行う取組みを導入します。

○ NPO、ボランティア団体、事業者等と連携しながら、バリアフリーの意識啓発、マナー向上を図るための、広報、イベント等を実施します。

■情報提供

○ バリアフリーに関する情報ネットワークシステムの構築を検討します。

○ 市内のバリアフリー情報の提供を進めます。

○ わかりやすい案内表示の方法について検討します。

６．　道路特定事業整備スケジュール

地区名	区分	路線名	延長(m)	事業費(百万円)	実施時期(予定)		実施年度							備考
					着手	完了	～H22	H23	H24	H25	H26	H27以降		
岸部地区	生活関連経路	山田佐井寺岸部線	750	15.3	H24年度	H26年度			■	■	■			一部吹田操車場跡地のまちづくり事業で整備
		岸部南1号線	110	350.0	H20年度	H26年度	■			■	■			駅前広場整備工事と一体で再整備
		岸部南2号線	100	0.6	H26年度	H27年度					■	■		
		岸部南3号線	107	2.6	H27年度以降							■		
		小計	1,067	368.5										
	準生活関連経路	岸部南4号線	155	1.4	H27年度以降							■		
		岸部南5号線	51	1.1	H27年度以降							■		
		岸部南6号線	385	9.9	H27年度以降							■		大阪学院大学と調整が必要
		岸部中43号線	35	1.2	H27年度以降							■		
		岸部中48号線	90	1.9	H27年度以降							■		
		岸部南南正雀1号線	277	1.6	H27年度以降							■		大阪学院大学と調整が必要
		岸部中内本町線	160	1.6	H27年度以降							■		
		小計	1,153	18.7										
	岸部地区計		2,220	387.2										
北千里地区	生活関連経路	千里山北公園古江線	710	66.8	H25年度	H27年度				■	■	■		
		千里山北公園古江線(駅前広場)	310	86.2	H25年度	H27年度				■	■	■		
		青山古江線	910	58.7	H25年度	H27年度				■	■	■		
		藤白古江線	350	16.7	H27年度以降							■		
		青山藤白古江線	430	27.1	H27年度以降							■		
		藤白台49号線	55	0.1	H27年度以降							■		
	北千里地区計		2,765	255.6										
万博公園周辺地区	生活関連経路													
		千里万博公園専用1号線	281	6.9	H26年度	H27年度						■		
	万博公園周辺地区計		281	6.9										
総合計			5,266	649.7										

※ 実施予定期間は現時点での目標を示したものであり、今後、財政状況、事業進捗状況により変更することがあります。

岸部地区、北千里地区、万博公園周辺地区
吹田市バリアフリー道路特定事業計画
平成22年（2010年）10月

吹田市 建設緑化部 道路安全室 交通政策課 バリアフリー推進係
〒564-8550　大阪府吹田市泉町１-３-４０
TEL(06)6384-1980／FAX(06)6368-9902
ホームページ http://www.city.suita.osaka.jp/
E-mail　kotusei@city.suita.osaka.jp